

平成 17 年(2005)カレンダ―

きのととり

乙酉

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1 旧10月20日 大安	2 旧21日 赤口	3 旧22日 先勝	4 旧23日 友引 報恩講・壮年会
5 旧24日 先負 報恩講・婦人会	6 旧25日 仏滅	7 旧26日 大安 大雪	8 旧27日 赤口 成道会	9 旧28日 先勝	10 旧29日 友引	11 旧30日 先負
12 旧11月1日 大安 ふるさと探訪	13 旧2日 赤口	14 旧3日 先勝	15 旧4日 友引	16 旧5日 先負	17 旧6日 仏滅	18 旧7日 大安
19 旧8日 赤口	20 旧9日 先勝 本願寺 御煤払	21 旧10日 友引 冬至	22 旧11日 先負 仏教講座	23 旧12日 仏滅 天皇誕生日	24 旧13日 大安	25 旧14日 赤口
26 旧15日 先勝	27 旧16日 友引	28 旧17日 先負	29 旧18日 仏滅	30 旧19日 大安	31 旧20日 赤口 大晦日 除夜会	1

平成 16 年 12 月

お 正 信 偈 の 話

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

2004年 12月

平成17年 (2005)

2月

日 月 火 水 木 金 土
 28 29 30 1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28 29 30 31 1

1

むつき 睦月 January

日 月 火 水 木 金 土
 30 31 1 2 3 4 5
 6 7 8 9 10 11 12
 13 14 15 16 17 18 19
 20 21 22 23 24 25 26
 27 28 1 2 3 4 5

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 旧11月21日 先勝 元日 修正会
2 旧22日 友引	3 旧23日 先負	4 旧24日 仏滅 御用始め 仏教婦人会	5 旧25日 大安 小寒	6 旧26日 赤口	7 旧27日 先勝 七草	8 旧28日 友引 仏教壮年会
9 旧29日 先負 ふるさと探訪	10 旧12月朔日 赤口 成人の日	11 旧2日 先勝 鏡開き	12 旧3日 友引	13 旧4日 先負	14 旧5日 仏滅	15 旧6日 大安 小正月
16 旧7日 赤口 親鸞聖人御命日	17 旧8日 先勝	18 旧9日 友引	19 旧10日 先負	20 旧11日 仏滅 大寒	21 旧12日 大安	22 旧13日 赤口
23 旧14日 先勝	24 旧15日 友引	25 旧16日 先負 法然上人忌	26 旧17日 仏滅 仏教講座	27 旧18日 大安	28 旧19日 赤口	29 旧20日 先勝
30 旧21日 友引	31 旧22日 先負	9日~16日 京都・本願寺 御正忌報恩講				

天を突く 枝に葉のなし 梅の花

松原 忍

正信念仏偈 (しょうしんねんぶつげ)

お正信偈の正式な名称は「正信念仏偈」と言います。私たち浄土真宗では朝夕のお勤めに、このお正信偈を読ませてください。

このお正信偈は、御開山・親鸞聖人がお書きになった『顕浄土真実教行証文類』の第二巻「行巻」の最後にあります。七言百二十句の、漢詩の形になっています。

お経とは、お釈迦さまのお言葉をまとめたものですから、お正信偈はお経ではありません。時々「お正信ぎょう」と言う方がおられますが、これは間違いです。「おしょうしんげ」と読ませていただきます。

このお正信偈を、現在のように偈文と念仏・和讃を組み合わせ読誦するように仕立ててくださったのは、本願寺第八代、蓮如上人でありました。約五百年前、木版をお造りになって、印刷して広めてくださいました。

このお正信偈は、二段に分かれています。最初から「難中之難無過斯」までが「依経段」といい、無量寿経・観無量寿経・阿弥陀経の浄土三部経から、私たちがどのように阿弥陀さまに願われているのかをお説きくださいます。

「続く『印度西天の論家』」から最後まで、阿弥陀さまのお慈悲を教えてくださいましたインド・中国・日本の七人の高僧がたによるお念仏のおすすめてです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

1月

平成17年 (2005)

3月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

2

きさらぎ 如月 February

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 旧12月23日 仏滅 仏教婦人会	2 旧24日 大安	3 旧25日 赤口 節分	4 旧26日 先勝 立春	5 旧27日 友引
6 旧28日 先負	7 旧29日 仏滅	8 旧30日 大安	9 旧1月1日 先勝 旧正月	10 旧2日 友引	11 旧3日 先負 建国記念の日	12 旧4日 仏滅 仏教壮年会
13 旧5日 大安 ふるさと探訪	14 旧6日 赤口 長谷寺だだ押し	15 旧7日 先勝 涅槃会	16 旧8日 友引	17 旧9日 先負	18 旧10日 仏滅 雨水	19 旧11日 大安 西大寺会陽
20 旧12日 赤口	21 旧13日 先勝	22 旧14日 友引	23 旧15日 先負 皇太子誕生日 仏教講座	24 旧16日 仏滅	25 旧17日 大安	26 旧18日 赤口
27 旧19日 先勝	28 旧20日 友引	1	2	3	4	5

花の園

心優しく

孫に説く

木村正一

帰命無量寿如来
南無不可思議光

最初の二句は、阿弥陀さまのお名前をお呼びになつていきます。いわばお念仏と同じものです。

阿弥陀如来の「アミダは、古代のインド語の音を、漢字で写したものです。阿弥陀さまは「アミターユス」と「アミターバ」の二つのお名前を持つておられ、最初の「アミター」として「阿弥陀」と音写されました。それぞれ「無量の寿命を持つ仏」と「不可思議な光の仏」という意味なのです。

これはそれぞれ「慈悲」と「智慧」とをあらわしています。私たちがお仏壇に、おろうそくを灯すのは「智慧を、お華をおまつりするのには「慈悲をあらわしてあり、このように頂戴していきますと、お荘厳しているのです。

その阿弥陀如来に「南無」というのは「帰命」と「信順」とするということです。つまり、お敬いし、お任せするということなのです。

また「南無阿弥陀仏」と読んでいるのは、本願寺派の読み方です。よそでは「南無と読んでいます。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山厭傾院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

2月

平成17年 (2005)

4月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5

3

やよい
弥生 March

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1 <small>旧1月21日 先負 仏教婦人会</small>	2 <small>旧22日 仏滅</small>	3 <small>旧23日 大安 ひな祭</small>	4 <small>旧24日 赤口</small>	5 <small>旧25日 先勝 啓蟄</small>
6 <small>旧26日 友引</small>	7 <small>旧27日 先負</small>	8 <small>旧28日 仏滅</small>	9 <small>旧29日 大安</small>	10 <small>旧2月1日 友引</small>	11 <small>旧2日 先負</small>	12 <small>旧3日 仏滅 東大寺お水取り 仏教壮年会</small>
13 <small>旧4日 大安 ふるさと探訪</small>	14 <small>旧5日 赤口</small>	15 <small>旧6日 先勝</small>	16 <small>旧7日 友引</small>	17 <small>旧8日 先負 彼岸入り</small>	18 <small>旧9日 仏滅</small>	19 <small>旧10日 大安 春季永代経・彼岸会</small>
20 <small>旧11日 赤口 春分の日 春季永代経・彼岸会</small>	21 <small>旧12日 先勝 振替休日</small>	22 <small>旧13日 友引 法隆寺お会式</small>	23 <small>旧14日 先負 彼岸明け</small>	24 <small>旧15日 仏滅</small>	25 <small>旧16日 大安</small>	26 <small>旧17日 赤口</small>
27 <small>旧18日 先勝 利休忌</small>	28 <small>旧19日 友引</small>	29 <small>旧20日 先負</small>	30 <small>旧21日 仏滅 薬師寺花会式 仏教講座</small>	31 <small>旧22日 大安</small>	1	2

川の岸 春立風に 深呼吸

広瀬 克夫

法蔵菩薩因位時
一切群生蒙光照

阿弥陀さまのご修行時代、法蔵菩薩さまは、お釈迦さまと同じように王さまでありましたが、世自在王仏さまのお説法を聞いて、大変お喜びになり、お弟子となつて過去現在未来のすべての仏さまのお浄土をご覧になりました。

ところが、他の仏さまがたのお浄土では、多くの衆生が悲しみに嘆き、苦しみに喘いでいたのです。そこで悲しみや苦しみのないお浄土を作つて、すべての衆生をすくい取り、本当の幸せ者（仏）に仕上げなくてはという願いを起したのでした。

そして、五劫という長いあいだ思案をめぐらして四十八もの願を選びとり、その上、名号を聞かせて救おうと誓われたのでした。これらの誓願が成就して、十劫の昔に阿弥陀如来となつたのでした。

阿弥陀さまのお働きは、量りなき光・辺なき光・何ものにも碍げられない光・対なき光・輝き第一の光・清浄な光・歡喜の光・智慧の光・断えることない光・考えられない光・称えつくせない光・日月を超える光、となつてすべての世界を照らし、常に働きかけていくたさるのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会
石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派
醍醐山厭傾院 **徳勝寺**
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館
だいが (醍醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772

3月

平成17年 (2005)

5月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

4

うづき
卯月 April

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 <small>旧2月23日 赤口</small>	2 <small>旧24日 先勝</small>
3 <small>旧25日 友引</small>	4 <small>旧26日 先負</small>	5 <small>旧27日 仏滅 清明 仏教婦人会</small>	6 <small>旧28日 大安</small>	7 <small>旧29日 赤口</small>	8 <small>旧30日 先勝 灌仏会(花祭り)</small>	9 <small>旧3月1日 先負 仏教壮年会</small>
10 <small>旧2日 仏滅 ふるさと探訪</small>	11 <small>旧3日 大安</small>	12 <small>旧4日 赤口</small>	13 <small>旧5日 先勝</small>	14 <small>旧6日 友引</small>	15 <small>旧7日 先負</small>	16 <small>旧8日 仏滅</small>
17 <small>旧9日 大安</small>	18 <small>旧10日 赤口</small>	19 <small>旧11日 先勝</small>	20 <small>旧12日 友引 穀雨</small>	21 <small>旧13日 先負</small>	22 <small>旧14日 仏滅</small>	23 <small>旧15日 大安</small>
24 <small>旧16日 赤口</small>	25 <small>旧17日 先勝 興福寺文殊会</small>	26 <small>旧18日 友引</small>	27 <small>旧19日 先負 仏教講座</small>	28 <small>旧20日 仏滅</small>	29 <small>旧21日 大安 みどりの日</small>	30 <small>旧22日 赤口</small>

山連をせり上がるかに若葉風

瀬尾 照夫

本願名号(正定業)

如象水入海一味

四十八願のうち、第十八願が阿弥陀さまのお誓いの根本なので「本願」と呼びます。この本願によって、阿弥陀さまは、私を浄土に往生させようと働き、「南無阿弥陀仏」の名号となつて、この私の口から出てこられるのです。

阿弥陀さまのお働きによって、極楽浄土に生まれることが決まつたからには、この私は仏となることが定まつた身となりました。これは必ず滅度の願(第十一願)が成就したからです。

お釈迦さまがこの世に出てこられたわけは、ただこの阿弥陀さまの本願のおいわれを説くためでした。五濁の世にある私たちは、お釈迦さまがお説きくださった、この真実の教えを信じるべきでしょう。阿弥陀さまにすべてをお任せして、本願のお法を信じ喜ぶならば、私の欲望をなくさないままで涅槃を得て仏となることができます。

凡夫も聖者も仏さまの教えに逆らつた者も、心をひるがえして阿弥陀さまにすべてをお任せしたら、すべての川が海に入つて同じ一つの味になるように、平等に救われていくのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山厭傾院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

4月

平成17年 (2005)

6月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5

さつき
皐月 May

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

日	月	火	水	木	金	土
1 旧3月23日 先勝	2 旧24日 友引 八十八夜	3 旧25日 先負 憲法記念日	4 旧26日 仏滅 国民の休日	5 旧27日 大安 こどもの日・立夏	6 旧28日 赤口	7 旧29日 先勝
8 旧4月1日 仏滅 母の日	9 旧2日 大安	10 旧3日 赤口 仏教婦人会	11 旧4日 先勝 興福寺新能	12 旧5日 友引	13 旧6日 先負	14 旧7日 仏滅 当麻寺練供養 仏教社年会
15 旧8日 大安 京都・葵祭 ふるさと探訪	16 旧9日 赤口	17 旧10日 先勝	18 旧11日 友引	19 旧12日 先負	20 旧13日 仏滅	21 旧14日 大安 小満 降誕会・初参式
22 旧15日 赤口	23 旧16日 先勝	24 旧17日 友引	25 旧18日 先負 仏教講座	26 旧19日 仏滅	27 旧20日 大安	28 旧21日 赤口
29 旧22日 先勝	30 旧23日 友引	31 旧24日 先負	1	2	3	4

九十九折 山上ひらけり 紅つつじ

多田 俊一

撰取心光常照護(難中之難無過斯) 必ずすくい取って仏にしようという、阿弥陀さまのお慈悲の光は、いつも照らし護っていてくださいます。しかし、ご本願を疑う心がなくなっても、私の貪りや怒り・憎しみの心は、はてのない雲霧のように、いつも真実信心の上を覆っているのです。

けれども、日の光が、雲や霧に隠れても地上は明るいうに、私が往生させていたたくことには間違いはないでしょう。ご信心をいただいで、阿弥陀さまを敬い、大いに喜ばせていただけば、ただちに悩みや苦しみの迷界をとびこえて、仏となるべき身とさせていただけます。

すべての善人も悪人も、阿弥陀さまの本願を聞いて信じさせていただけば、ほかの仏さまたちは「すぐれた法の体得者」とほめたたえ、「泥の中に咲く白蓮華」と称讃してくださいます。

阿弥陀さまの本願に誓われた念仏の教えは、よこしまな考えを持ちたり、憐れたかぶる人には、これを信ずることにはなはだ難しいものなのです。心すなおに阿弥陀さまに願われて生かされていることを感じさせていただきます。

社会福祉法人 醍醐福祉会
石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派
醍醐山厭傾院 徳勝寺
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館
だいが (醍醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772

5月

平成17年(2005)

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

6

みなづき
水無月 June

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 <small>旧4月25日 仏滅</small>	2 <small>旧26日 大安</small>	3 <small>旧27日 赤口</small>	4 <small>旧28日 先勝 伝教大師忌</small>
5 <small>旧29日 友引 芒種</small>	6 <small>旧30日 先負</small>	7 <small>旧5月1日 大安 仏教婦人会</small>	8 <small>旧2日 赤口</small>	9 <small>旧3日 先勝</small>	10 <small>旧4日 友引 時の記念日</small>	11 <small>旧5日 先負 入梅 仏教壮年会</small>
12 <small>旧6日 仏滅 ふるさと探訪</small>	13 <small>旧7日 大安</small>	14 <small>旧8日 赤口</small>	15 <small>旧9日 先勝</small>	16 <small>旧10日 友引</small>	17 <small>旧11日 先負</small>	18 <small>旧12日 仏滅</small>
19 <small>旧13日 大安 父の日・桜桃忌</small>	20 <small>旧14日 赤口</small>	21 <small>旧15日 先勝 夏至</small>	22 <small>旧16日 友引</small>	23 <small>旧17日 先負 沖繩慰霊の日</small>	24 <small>旧18日 仏滅</small>	25 <small>旧19日 大安</small>
26 <small>旧20日 赤口</small>	27 <small>旧21日 先勝</small>	28 <small>旧22日 友引</small>	29 <small>旧23日 先負 仏教講座</small>	30	1	2

水辺咲く 風むらさきや 花菖蒲

谷口 幸子

印度西天(インド)之論家、明如来本誓心機
インドの菩薩さま、中国・日本の高僧の方々は、お釈迦さまがこの世にお生まれになつた一番の意味を説いて、阿弥陀さまの本願は私たちのための教えだと明らかにしてくださいました。

お釈迦さまは楞伽山で、多くの聴衆に向かつて、「南インドに龍樹という菩薩が現れて、有無の邪見をことごとくうち破り、大乘のこの上なき法を説きのべ、歡喜地をさとして安樂浄土に往生するであらうとおっしゃいました。

その通りに、龍樹菩薩は紀元前後に南インドにお生まれになり、『十住毘婆沙論』というお書物の中で、自ら歩いていく陸路は苦しいので本願をすなおにただけでない、心を楽にして任せざる船路でなくてはならない、と易行をお勧めくださいました。

阿弥陀さまのご本願にお任せすれば、そのお力によってただちに仏となる身に定まるのです。ただよく、いつも「南無阿弥陀仏」とお名号を称えて、ご本願にお誓い下さったお慈悲の之恩を言こぼすと教えられました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

6月

平成17年(2005)

8月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

7

ふみづき
文月 July

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1 旧5月25日 大安	2 旧26日 赤口 半夏生
3 旧27日 先勝	4 旧28日 友引	5 旧29日 先負 仏教婦人会	6 旧6月1日 赤口	7 旧2日 先勝 小暑・七夕	8 旧3日 友引	9 旧4日 先負 鵲外忌 仏教壮年会
10 旧5日 仏滅 ふるさと探訪	11 旧6日 大安	12 旧7日 赤口	13 旧8日 先勝 盆迎え火	14 旧9日 友引	15 旧10日 先負 盂蘭盆会	16 旧11日 仏滅 盆送り火
17 旧12日 大安 祇園祭 夏参り・盆会	18 旧13日 赤口 海の日	19 旧14日 先勝 土用入り	20 旧15日 友引	21 旧16日 先負	22 旧17日 仏滅	23 旧18日 大安 大暑
24 旧19日 赤口 地藏盆	25 旧20日 先勝	26 旧21日 友引	27 旧22日 先負 仏教講座	28 旧23日 仏滅 土用丑	29 旧24日 大安	30 旧25日 赤口
31 旧26日 先勝	← 大谷本廟 納骨永代経法要 →					

にわか雨 浜の禪子 消えにけり

田中克己

天親菩薩造論説
入生死園示応化

天親菩薩は、四・五世紀ころ、北西インドのガンダーラを中心に活躍された学問僧です。非常に多くのお書物をお書きくださいましたが、無量寿経を注釈された『浄土論』というお書物で、阿弥陀さまのご本願の力をお示しくださいました。そして「世尊よ。我一心に尽十方無碍光如来に帰命せんとご自身のご信心を明らかにされておられるのです。

阿弥陀さまのご本願の力は、何ものにも妨げられることなくすくい取ってくださいと信じ、お経典によって真実をあらわし、他力の一念によつて速やかに救われるという、ご本願のおみのりを多くの人にも理解されるようにお示しくくださいました。

この広大な本願力のはたらきを信ずれば、この私たちがお浄土の聖衆の仲間に入ることができ、命尽きれば蓮華の世界に生まれて、ただちに仏のさとりをひらくことができますと教えてくださいます。さらに、仏となつてからは、迷いの世界にかえつて来て不思議な力を現し、自在に衆生を救うことができると述べられたのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山厭傾院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

7月

平成17年 (2005)

9月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

8

はづき 葉月 August

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

日	月	火	水	木	金	土
31	1 旧6月27日 友引	2 旧28日 先負 仏教婦人会	3 旧29日 仏滅	4 旧30日 大安	5 旧7月朔日 先勝	6 旧2日 友引 広島原爆記念日 大谷本廟 朝の法座
7 旧3日 先負 立秋	8 旧4日 仏滅	9 旧5日 大安 長崎原爆記念日	10 旧6日 赤口 西鶴忌	11 旧7日 先勝	12 旧8日 友引	13 旧9日 先負 旧・盆迎え火 仏教壮年会
大谷本廟 朝の法座 (6~9日)						
14 旧10日 仏滅 ふるさと探訪	15 旧11日 大安 旧・盂蘭盆会 組・平和の集い	16 旧12日 赤口 旧・盆送り火	17 旧13日 先勝	18 旧14日 友引	19 旧15日 先負	20 旧16日 仏滅
21 旧17日 大安	22 旧18日 赤口 一遍忌	23 旧19日 先勝 処暑	24 旧20日 友引 旧・地藏盆	25 旧21日 先負	26 旧22日 仏滅	27 旧23日 大安
28 旧24日 赤口	29 旧25日 先勝	30 旧26日 友引	31 旧27日 先負 仏教講座	1	2	3

足早に雲の山這ふ
厄日かな
佐々木 嘉清

本師曇鸞梁天子(ほんしんとんらんりょうてんし)
諸有衆生皆普化(しよいうしゆじやうけいふけ)

本宗の祖師・曇鸞大師は、五・六世紀の人で龍樹菩薩の教えを学ばれました。しかし病にお倒れになったとき、道教を頼られました。ところが、菩提流支三蔵に出会われて、生死を越える道と往生浄土の聖典を授けられ、仙術の経を焼きすてて浄土のお法に歸入されたのでした。その後の精進は素晴らしかったのだ、梁の国王も尊んで、つねに曇鸞さまに向かつて「曇鸞菩薩と礼拝されました。」

天親菩薩の『浄土論』を註解して『往生論註』をお書きくださった、お浄土に生まれる因も果も、阿弥陀さまの本願力によると明らかにされました。この私たちがお浄土に往生するのも、この世に還って人を救うのも、すべてこの他力本願によるのだと、明らかにされたのでした。

仏となるべき身に定まるのは、如来さまから賜わる信心一つの働きです。惑いに汚れた私も、本願を信じさえすれば「迷いのままだが悟りである」という仏となるべき身となるでしょう。かぎりない光のお浄土に往生すれば、迷っている人びとを救う働きもできるのだ、と言われました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山厭傾院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

8月

平成17年(2005)

10月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

9

ながつき
長月 September

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 旧7月28日 仏滅 二百十日	2 旧29日 大安 富山・風の盆	3 旧30日 赤口
4 旧8月朔日 友引	5 旧2日 先負	6 旧3日 仏滅 仏教婦人会	7 旧4日 大安 白露	8 旧5日 赤口	9 旧6日 先勝	10 旧7日 友引 仏教壮年会
11 旧8日 友引 ふるさと探訪	12 旧9日 仏滅	13 旧10日 大安	14 旧11日 赤口	15 旧12日 先勝	16 旧13日 友引	17 旧14日 先負
18 旧15日 仏滅 十五夜	19 旧16日 大安 敬老の日・子規忌	20 旧17日 赤口 彼岸入り	21 旧18日 先勝	22 旧19日 友引 徳勝寺 秋季永代経・彼岸会	23 旧20日 先負 秋分の日	24 旧21日 仏滅
25 旧22日 大安	26 旧23日 赤口 彼岸明け	27 旧24日 先勝	28 旧25日 友引 仏教講座	29 旧26日 先負 道元禅師忌	30 旧27日 仏滅	1

雲辺寺 杉の参道 涼しかり

真田 八十子

道綽決聖道難証、即証法性之常樂

道綽禅師は、六・七世紀の中国の方です。十四才でご出家され、厳しい禅定のご修行に励んでおられました。ところが、玄中寺で曇鸞さまの石碑をご覧になって、これまでのすべての修行を捨てて、阿彌陀さまのみ教えに入られたのでした。

道綽さまは『安樂集』の中で、それまでの聖道の方法では証りがたいとされ、ただ往生浄土の方法のみが救われる道であると示されました。さらに、みずからの修行の効能を信じて諸善を積む方法をしりぞけ、阿彌陀さまからの功德が円満しているお名号を称えるよう勧められました。

私たちのように煩惱を持つ者は、純粹な信心がなく、阿彌陀さまにだけお任せすることもできず、持続することもできないのです。道綽さまは、そのことを身をもってお示しになって、懇ろにおさとしくださいました。

いつの時代にも変わらぬお慈悲のお法を明らかにされ、生涯の間、悪いことをしたとしても、ご本願を信じお念仏すれば、お浄土に往生し、かならず仏となることができると実践されたのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

9月

平成17年(2005)

11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

10

かなづき
神無月 October

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1 旧28日 大安
2 旧29日 赤口	3 旧9月朔日 先負	4 旧2日 仏滅 仏教婦人会	5 旧3日 大安 達磨忌	6 旧4日 赤口	7 旧5日 先勝	8 旧6日 友引 寒露 仏教壮年会
9 旧7日 先負 ふるさと探訪	10 旧8日 仏滅 体育の日	11 旧9日 大安	12 旧10日 赤口 芭蕉忌	13 旧11日 先勝	14 旧12日 友引	15 旧13日 先負 大谷本廟龍谷会
16 旧14日 仏滅 大谷本廟龍谷会	17 旧15日 大安	18 旧16日 赤口	19 旧17日 先勝	20 旧18日 友引 皇后誕生日	21 旧19日 先負	22 旧20日 仏滅
23 旧21日 大安 霜降	24 旧22日 赤口	25 旧23日 先勝	26 旧24日 友引 仏教講座	27 旧25日 先負	28 旧26日 仏滅	29 旧27日 大安
30 旧28日 赤口	31 旧29日 先勝					

紅葉の如く散りたし 八十路越え

榎村博

善導独明仏正意

即証法性之常樂

善導大師は、七世紀の中国にお生まれになり、若くしてご出家になり、道綽禪師を師として、阿彌陀さまのみ教えに信憑してご修行になり、『観無量寿経疏』、『往生礼讃』など多くのお書物をお書きになりました。

たくさんおられる浄土教の師匠がたの中でも、ひとり阿彌陀さまの正意を顕された、その方の人たちに敬われ、ことに法然上人は、「ひとえに善導一師による」とお敬いになられておられます。

阿彌陀さまは、善い行いのできる人も極悪の人も区別なく哀れまれて、如来の光明と名号によって救おうとされていることを明らかにされています。

広大なご本願の智慧の海に入れば、お念仏の行者は金剛のように堅固な信心をいただき、ご法義を喜ぶ心がおこると同時に、『観無量寿経』

に説かれる章提希夫人と同じように、歓喜の思いが湧き、お悟りが得られ、ご本願への信をいただくという「忍」を得ることができ、お浄土に往生しては常樂のさとりを開くことができると教えておられます。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山厭傾院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

10月

平成17年(2005)

12月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

11

しもつき
霜月 November

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 旧9月30日 友引	2 旧10月朔日 仏滅	3 旧2日 大安 文化の日	4 旧3日 赤口	5 旧4日 先勝
6 旧5日 友引	7 旧6日 先負 立冬	8 旧7日 仏滅 仏教婦人会	9 旧8日 大安	10 旧9日 赤口	11 旧10日 先勝	12 旧11日 友引 仏教壮年会
13 旧12日 先負 空也忌 ふるさと探訪	14 旧13日 仏滅	15 旧14日 大安 七五三	16 旧15日 赤口	17 旧16日 先勝	18 旧17日 友引	19 旧18日 先負 一茶忌
20 旧19日 仏滅	21 旧20日 大安 近松忌	22 旧21日 赤口 小雪	23 旧22日 先勝 勤労感謝の日	24 旧23日 友引	25 旧24日 先負	26 旧25日 仏滅
27 旧26日 大安	28 旧27日 赤口 親鸞聖人忌(旧曆)	29 旧28日 先勝	30 旧29日 友引 仏教講座	1	2	3

本願寺 秋の法要

杉木立 友と参るや 秋時雨 崎山 國一

源信広開一代教、大悲無倦常照我源信和尚は、平安時代の中ごろの比叡山の僧です。十三才で得度され、四十四才の時に、極楽への往生こそが私たちの目指す道であると『往生要集』をお書きくださったのでした。

このお書物には、お浄土と地獄について詳しく記されており、その絵図を御所の一室に掛けておいたところ、地獄のうめき声が聞こえると大騒ぎをしたほどです。

源信さまは、お釈迦さま一代の經典のすべてをお読みになつて、末法のこの世では、一すじに阿弥陀さまのお浄土を願うしかない、人びとにお勧めくださいました。

また、専修念仏の信は深く、雑行雑修の信は浅いことをお示しになり、行き先にもそれぞれ報土と化土との別があることを教えられました。

ご自身も、極重の悪人である私は、ただお念仏より他に途はない。私も光明の中に撰め取られていながら、煩惱にさえぎられて、光明を見ることのできない。それでも阿弥陀さまの大悲は怠ることなく、常にこの私を照らしてくださる、とお念仏を喜ばれて生涯を閉じられました。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山願院 徳勝寺

Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館

だいが (醍醐)

Tel & Fax 0879 (43) 5772

11月

平成17年 (2005)

2006年 1月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

12

しわす 師走 December

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1 旧10月30日 先負	2 旧11月朔日 大安	3 旧2日 赤口 御正忌報恩講
4 旧3日 先勝 御正忌報恩講	5 旧4日 友引	6 旧5日 先負	7 旧6日 仏滅 大雪	8 旧7日 大安 成道会	9 旧8日 赤口 漱石忌	10 旧9日 赤口
11 旧10日 友引 ふるさと探訪	12 旧11日 先負	13 旧12日 仏滅	14 旧13日 大安	15 旧14日 赤口 年賀郵便受付開始	16 旧15日 先勝	17 旧16日 友引
18 旧17日 先負	19 旧18日 仏滅	20 旧19日 大安 本願寺お煤払	21 旧20日 赤口 仏教講座	22 旧21日 先勝 冬至	23 旧22日 友引 天皇誕生日	24 旧23日 先負
25 旧24日 仏滅 蕪村忌	26 旧25日 大安	27 旧26日 赤口	28 旧27日 先勝 御用納め	29 旧28日 友引	30 旧29日 先負	31 旧12月朔日 赤口 大晦日 除夜会

風絶えてもみじ水面に夏子ダム
下岡 喜代美

本師源空明仏教、必以信心為能入、法然坊源空上人を、通常「法然さま」と呼びびしています。一三三三年に岡山でお生まれになり十三才で比叡山にお入りになりました。一切経を三度も読むほど激しいお勉強をされますが、善導さまの「一心にもつばら弥陀の名号を念す」のご文をお読みになり、お念仏の道に入られました。善悪すべての人びとを哀れんで、浄土真宗のおみのりを日本におこし、阿弥陀さまのご本願のお法をこの濁った世にひろめようとされました。ことに多くの門弟を育てられ、御開山・親鸞聖人もその一人でありました。主著『選撰集』には、いつまでも迷いの世界にとどまるのは、阿弥陀さまのご本願を信受しないからであり、すみやかにさとりの世界に入るためには、ご本願の信心をいただく一つしかない、と教えられています。

弘経大土宗師等、唯可信斯高僧説、浄土真宗の教えを広めたお祖師たちは、罪深い私たちを救おうとされました。出家も在家も今の世の人びとは共に、この高僧がたの教えを信じさせていただきましょう。

社会福祉法人 醍醐福祉会
石田保育園
Tel 0879 (43) 1451 Fax 0879 (23) 2053

浄土真宗本願寺派
醍醐山願院 **徳勝寺**
Tel 0879 (43) 2023 Fax 0879 (23) 2008

徳勝寺門信徒会館
だいが (醍醐)
Tel & Fax 0879 (43) 5772